

HbA1c(ヘモグロビンA1c) 報告書への溶血コメント追記のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

日本糖尿病学会糖尿病関連検査の標準化に関する委員会から報告された「遠心処理後に測定するHbA1c測定法での採血管の取扱い」において、全血の検体を長時間冷蔵保存し搬送した場合に、赤血球が溶血しHbA1cが低値になることが報告されました。この報告を受け、検体に著しい溶血(溶血血漿中のヘモグロビン濃度が0.5g/dL以上)が確認された場合、検査結果に「参考値です」というコメントを付けて報告させていただきます。

謹白



項目名

総合検査案内 2021:5 ページ掲載

● HbA1c(NGSP)(ヘモグロビンA1c)

(依頼コード No.03317)

対応開始日 2022年2月1日(火) ご依頼分より

【変更内容】

著しい溶血(溶血血漿中のヘモグロビン濃度0.5g/dL以上)が確認された場合、検査結果に「参考値です」というコメントを付けて報告させていただきます。

- 検体の溶血リスクを低減させるため、採血直後にゆっくり転倒混和(5回以上)していただき、冷蔵でご提出くださいますようお願いいたします。
- 報告書中に使用する記号は「G:参考値です」となります。

【参考文献】

桑 克彦, 他: 糖尿病 64(5), 336-339, 2021.

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社: 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所: 〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



電子カルテはビー・エム・エル

